



平成 23 年 3 月 31 日

各 位

社 名： 株 式 会 社 ア ー ク
代 表 者 名： 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 荒 木 壽 一
(コード番号： 7873 東証第一部・JASDAQ)
問 い 合 せ 先： 常 務 取 締 役 土 生 田 充 功
TEL： 06 (6260) 1801

業績予想の修正、特別損失の発生 及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

当社は、平成 22 年 5 月 20 日に公表した業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。
また、下記の通り特別損失が発生致しますので、併せてお知らせ致します。

記

1. 平成 23 年 3 月期 通期業績予想との差異 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	95,000	2,000	700	200	2.94
今回修正予想 (B)	95,000	2,000	700	△11,000	△161.54
増減高 (B-A)	0	0	0	△11,200	△164.48
増減率 (%)	0.0	0.0	0.0	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 22 年 3 月期)	122,186	△5,004	△5,637	△15,415	△226.45

(2) 個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	10,000	600	200	50	0.73
今回修正予想 (B)	9,200	475	△115	△16,000	△234.97
増減高 (B-A)	△800	△125	△315	△16,050	△235.70
増減率 (%)	△8.0	△20.8	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 22 年 3 月期)	8,511	△205	△297	△13,123	△192.73

2. 差異の理由

(1) 連結業績について

海外の金型支援事業及び国内外の開発支援事業においては堅調に推移したこと、並びに子会社業績管理を徹底し、グループ丸となって徹底した経営合理化策を実施したことにより、足元の業績自体は回復基調にあります。また、本日付で支援申し込みを致しました企業再生支援機構の支援決定を受けた事業再生計画に基づき、今後の業績動向を検討した結果の減損損失、資産人員整理費用等の事業構造改善費用並びに一部連結子会社の繰延税金資産取り崩しを当第4四半期にて認識することから、通期の連結業績予想を上記の通り修正致します。

(2) 個別業績について

開発支援事業においては堅調に推移したものの、同様に堅調に推移していた量産成形品関連における受注が減少致しました。また、円高による為替の影響を受けたことに加え、下記の通り特別損失（「3. 特別損失の発生について（2）個別」参照）を当第4四半期に認識することから、通期の個別業績予想を上記の通り修正致します。

3. 特別損失の発生について

(1) 連結

下記の通り、平成23年3月期第4四半期連結会計期間において特別損失10,741百万円（第3四半期連結累計期間計上分は除く）を計上致します。

①事業構造改善費用

事業再生計画に基づき、国内生産拠点の集約化を実施するにあたり、資産人員整理費用等に必要事業構造改善費用1,392百万円を計上致します。

②減損損失

事業再生計画に基づき、当社グループの今後の業績動向を慎重に検討した結果、固定資産及びのれんの減損損失9,277百万円を計上致します。

③その他特別損失

一部貸付金につき、取立不能のおそれが生じているため貸倒引当金繰入額72百万円を計上致します。

(2) 個別

下記の通り、平成23年3月期第4四半期会計期間において特別損失16,661百万円（第3四半期累計期間計上分は除く）を計上致します。

①事業構造改善費用

事業再生計画に基づき、国内生産拠点の集約化を実施するにあたり、資産人員整理費用等に必要事業構造改善費用735百万円を計上致します。

②関係会社株式評価損

事業再生計画に基づき、一部の連結子会社における事業構造改善費用や減損損失を計上することにより財政状態が悪化することを勘案し、関係会社株式評価損13,785百万円を特別損失として計上致します。

③減損損失

事業再生計画に基づき、今後売却が予定されている有形固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額した結果、減損損失699百万円を計上致します。

④債務保証損失引当金繰入額

関係会社の金融機関からの借入金等に対する債務保証について、債務保証損失引当金繰入額 1,319 百万円を特別損失として計上致します。

⑤その他特別損失

取立不能のおそれが生じている一部貸付金に対する貸倒引当金繰入額 122 百万円を計上致します。

4. 繰延税金資産の取り崩しについて

一部連結子会社につき、当期及び今後の業績動向を慎重に検討致しました結果、平成 23 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額 747 百万円を計上致します。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上